

## Ex 1 地震と土砂災害及び歴史的砂防コース（晴天）

（予定定員：日本からの申込み 14 名、海外からの申込み 42 名）

雨天の場合は Ex 2 へコース変更します。

### 1. 視察コースの概要

立山カルデラを中心に、常願寺川の地震等による土砂災害や砂防事業及び白岩砂防堰堤を代表とする歴史的な砂防施設について視察します。

視察にあたっては立山砂防工事の資材等の運搬で活用しているトロッコへも乗車します。

また、立山カルデラを中心とした上流域の自然と歴史、砂防事業を紹介する立山カルデラ砂防博物館を見学します。

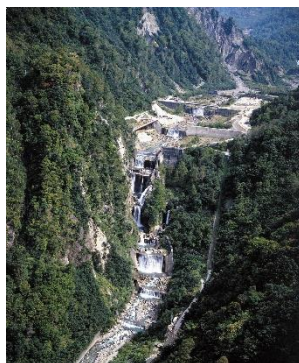
### 2. 視察箇所

#### (1) 主な視察箇所

- ・ **立山カルデラ砂防博物館**・・・日本で最初の“砂防”を紹介する博物館。常願寺川の源流部にある侵食作用によって形成された立山カルデラの峻厳な自然と、県土の保全のため行われてきた砂防事業を紹介しています。
- ・ **泥谷砂防堰堤群**・・・崩壊土砂の侵食や崩壊拡大を防ぎ、山腹緑化効果が顕著な連続した階段式の砂防堰堤群です。2017 年国重要文化財に指定されています。
- ・ **白岩砂防堰堤**・・・本堰堤と副堰堤を合わせた総落差 108m は日本一の高さを誇るなど日本を代表する砂防堰堤です。砂防施設として初めて国重要文化財に指定されました。
- ・ **本宮砂防堰堤**・・・日本一の貯砂量を誇る砂防堰堤です。立山カルデラ内で抑えきれない土砂を捕捉して土砂災害を防ぎ、下流の河床上昇を抑制しています。2017 年国重要文化財に指定されています。
- ・ **カルデラ内の展望台**・・・1858 年飛越地震により発生した“鳶山の大崩壊”を展望します

#### (2) その他

- ・ **立山温泉跡地**・・・立山カルデラの秘湯。1580 年頃に温泉が発見され、江戸時代には立山信仰の拠点として賑わったが、1858 年の飛越地震で崩壊した大鳶山、小鳶山の土砂で温泉は埋まり 30 余名が生き埋めになりました。
- ・ **どじょう池**・・・1858 年の鳶山大崩れによって出来た堰き止め湖です。今は無い立山温泉の温泉経営者たちが放流したフナやニジマスが自然繁殖し、それらを求めて鳥や獣が集まる命豊かな池となっています。



白岩砂防堰堤



妙寿砂防堰堤（シャッター付砂防堰堤）



泥谷砂防堰堤群

### 3. 留意点

- ・ トロッコの定員の関係上、グループ（20 人単位）に分散して視察します。